



IDEC株式会社 製 パワーコンディショナ

パワーコンディショナと計測端末の接続例

本紙が対応するパワーコンディショナ

PJ1A-A401

PJ1A-A421

PJ1A-A591

PJ1A-B591A

PJ1A-B591B

パワーコンディショナの設定についての詳細は、
パワーコンディショナに付属する取扱説明書をご参照ください。

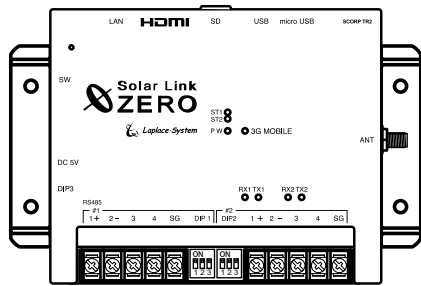
※本紙は弊社の対応履歴をもとに作成しております。

1. ZERO とパワーコンディショナの接続

1-1. パワーコンディショナ（以下、「PCS」とも記載）との配線

下図はパワーコンディショナと ZERO を接続する場合のイメージです（PCS が 1 台と 2 台の例）。

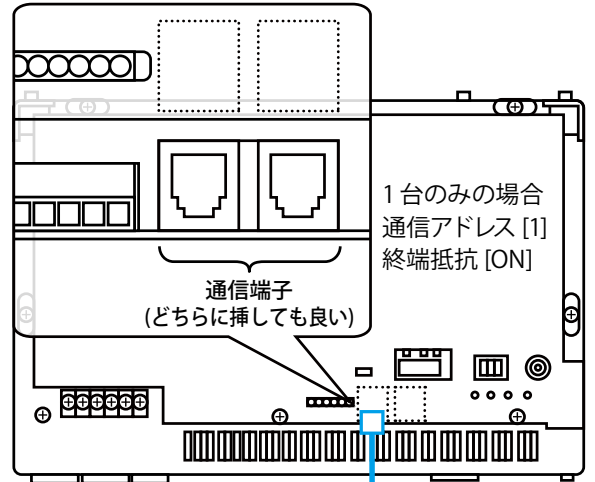
信号線に市販の LAN ケーブルを用いる場合は、**ストレートタイプ**をご用意ください。
自作時の PCS 側先端の加工は **T568B 配線** で行ってください。



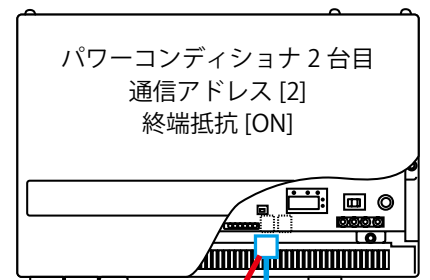
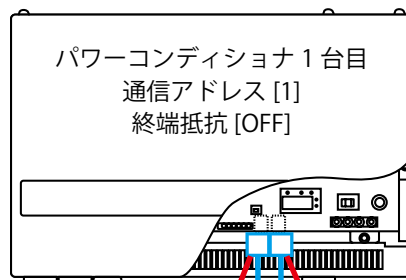
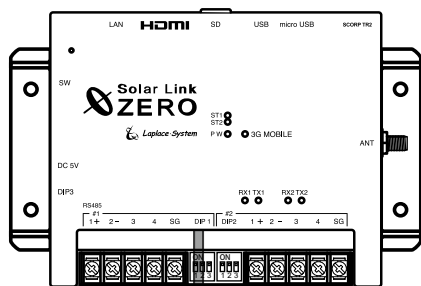
使用する LAN ケーブルの
ZERO 側の対応と加工については
3 ページをご確認ください

LAN ケーブル (RS-422 信号線として使用)

外部信号入出力部



ZERO から LAN ケーブルを通信端子の何れかに接続



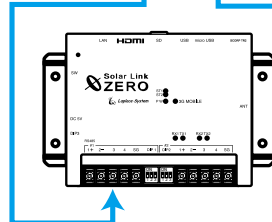
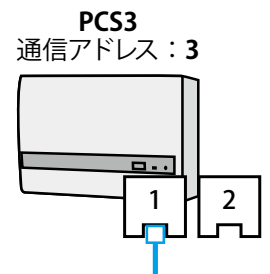
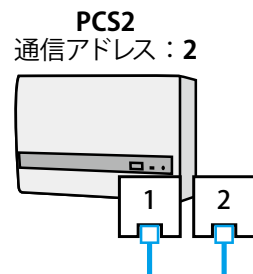
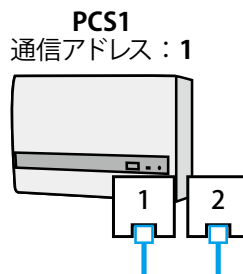
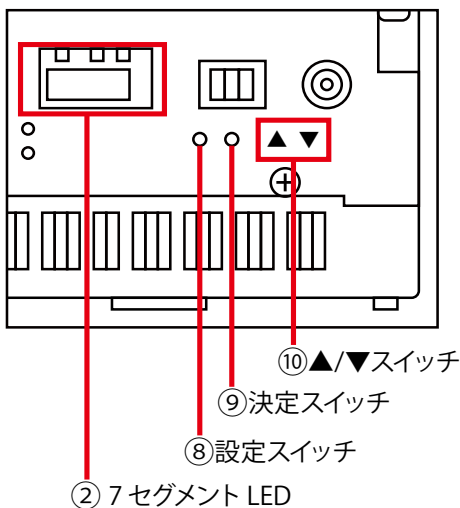
通信端子 1 に接続

通信端子 2 に接続

通信端子 1 に接続

1-2. パワーコンディショナの通信アドレスの設定

通信アドレス番号は、ZERO に近い PCS を必ず 1 とし、間を開けずに連続したアドレスに設定します（PCS が 3 台の例）。

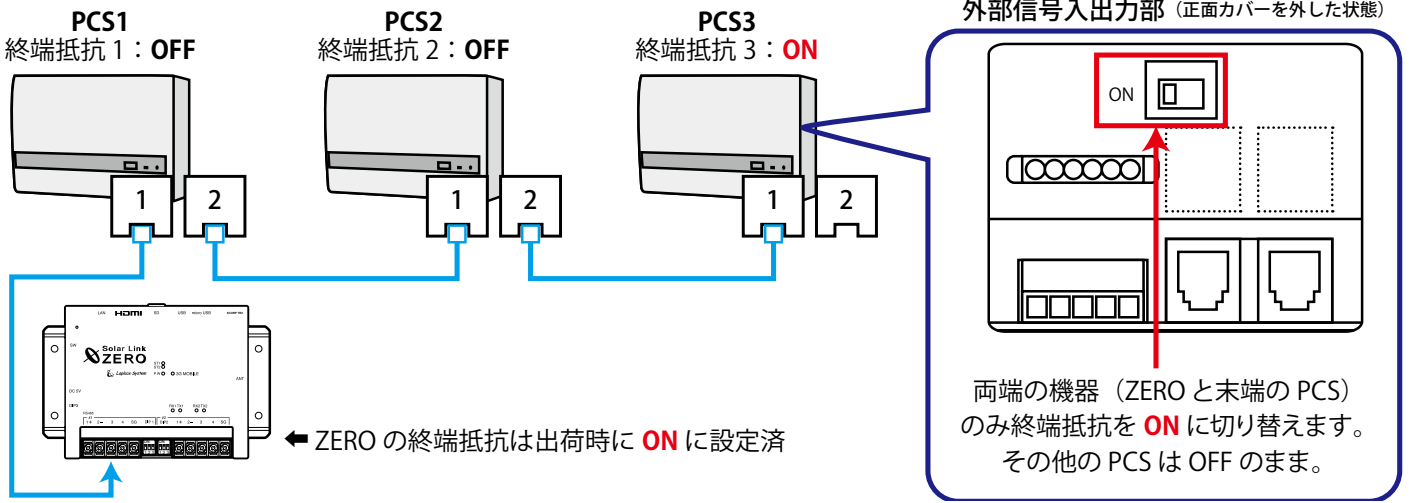


通信アドレスの設定の手順

- ⑧を押し、LEDに「[RAdd]」と表示が出てから⑨を押し決定します。
- 「[RAd0 1]」から順番に⑩を押し必要な台数まで設定します。
- ⑨を押すとLEDに「EEP」と表示されEEPROMに書込まれますので、⑨を押し決定してください。（「[Good]」が表示されると書き込み完了です）

1-3. 終端抵抗の設定

終端抵抗の設定については下図を参考に終端抵抗スイッチを切り替えてください（RS-422 通信の両端となる機器のみ ON）。

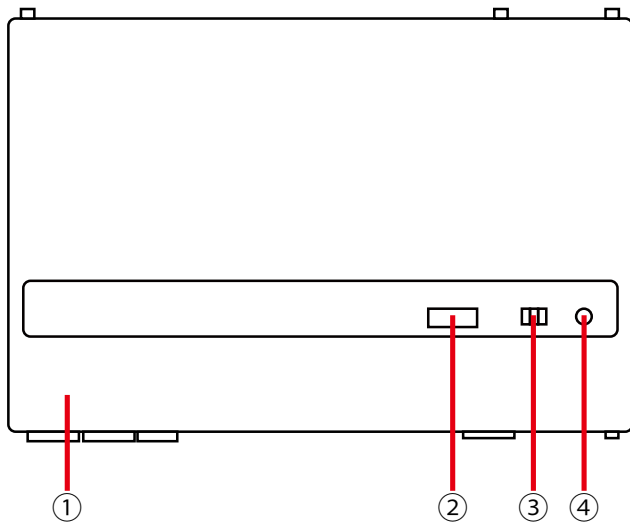


2. ZERO とパワーコンディショナを接続する

2-1. ZERO との接続で、操作や接続が必要なパワーコンディショナについて

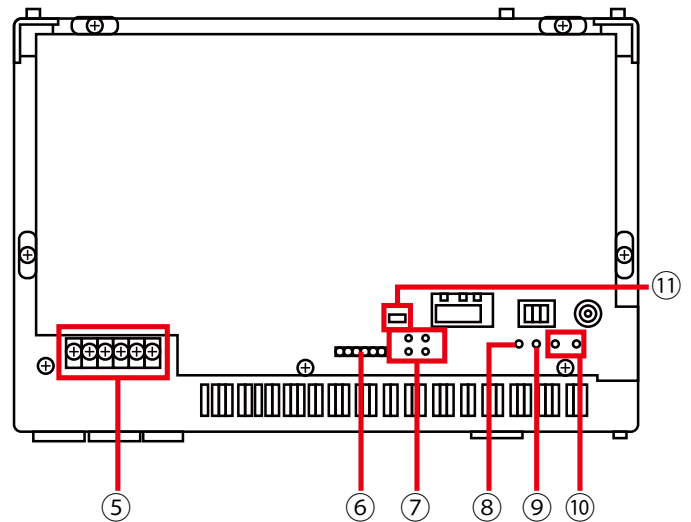
ZERO とパワーコンディショナの接続のために、下図内の箇所をご確認ください。詳細につきましては、あとのページをご覧ください。

正面



正面カバーを外した状態

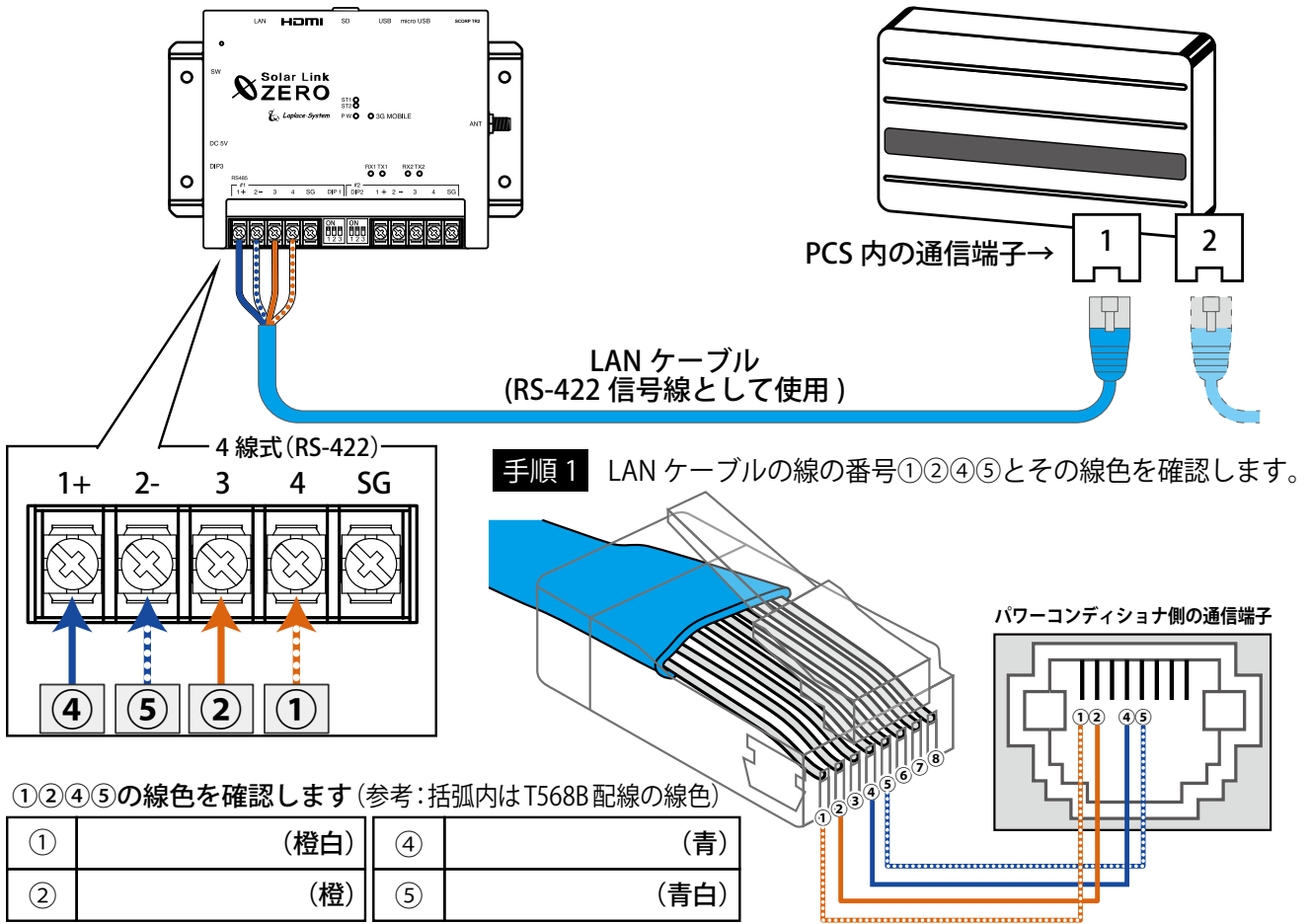
※参考例は PJ1A-A401 です。



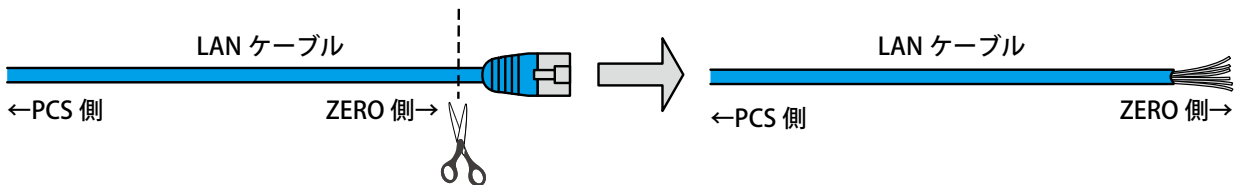
①	正面カバー	配線作業を行うときに、このカバーを取り外します。
②	7 セグメント LED	瞬時発電電力 / 積算電力量 / エラーコード / 待ち時間などを表示します。
③	運転スイッチ	自立運転 / 停止 / 連携運転を切り換えるスイッチです。
④	表示切替スイッチ	7 セグメント LED の表示内容の切り換え、およびユーザー積算電力量のリセット（クリア）を行います。
⑤	端子台	太陽電池からの直流電源、配電系統側の単相三線、アースを接続します。
⑥	外部信号出力端子	通常は配線をする必要はありません。
⑦	計測端末通信端子	専用ケーブルでセンサユニットと接続します。
⑧	設定スイッチ	設定モードに入る場合に使用します。
⑨	決定スイッチ	各項目を確定する場合に使用します。
⑩	▲ / ▼スイッチ	スクロールする場合に使用します。
⑪	計測端末通信用終端抵抗	受信側終端抵抗の ON/OFF を切り換えます。

2-2. ZERO に接続する市販 LAN ケーブル (ストレートタイプ) の先端加工

市販の LAN ケーブルでは ZERO 側に下記の加工が必要となります。ケーブルを自作する場合は PCS 側先端を T568B 配線としてください。



手順 2 ZERO に接続する側の LAN ケーブルの先端を切断し、線を取り出します。



手順 3 手順 1 で確認した線色の線を ZERO の端子台に接続します。

